

スミちゃんの韓国イヤギ②～

マイペースの人生を楽しもう

韓国の社会はよく学歴社会と言われ、受験戦争も激しいものがあります。昨年11月、韓国では2005年度大学入試がありました。そして、社会的に大騒ぎになったカンニングの事件や替え玉試験など、学歴社会の弊害を露呈する事件がありました。優秀な大学に入ることが大学卒業後のより良い就職先につながり、豊かな生活を送るスタートになるという話は、私もある程度わかるような気がします。

しかし、生徒の特技や個性を十分考慮しない、単純に学歴のための千篇一律的で盲目的な教育には反対です。人はそれぞれに得意な所と不得意な所を持っているのは当然のことで、また、本当の自分の適性を見つけるには相当な時間と子供の時からの色々な経験が必要になると思います。生徒たちはもっといろんな経験を通して、自分の適性を見つけ出す能力をどんどん養っていくべきなのに、朝から夜まで校内での勉強ばかりではどうかと思います。韓国の今の教育課程からだと自分の適性を見つけにくく、あるいはまったく見えない可能性も高いと思います。自分から自分の進路を決める判断力さえも持っていないのではないかと少し気になるほどです。

私は大学入試のとき、試験の結果（成績）に従い、第1志望として工科部に申し込み、第2志望先は担任の先生に適当に書いてもらいましたが（担任の先生から第1志望が合格圏と言われたので）、運悪く第2志望の学科に受かり、夢見ていた分厚い工学部の本の代わりに、家政科の本を手に持ち、大学の4年という時間を過ごしました。私はこのことについてすごく悩みました。大学時代は本当に辛かったです。休学して浪人しようとも考えましたが、勇気がなくて何度もあきらめました。今思えば、長い人生の中で1年や2年はなんともない短い期間という感覚ですが、当時の私は今までずっと同じ生活を送ってきた仲間と違う道を行くことが怖くてたまらなかつたのです。

話は変わりますが、この間、韓国へ里帰りしたとき、

机の引き出しにしまってあった学生時代の賞や成績通知表を整理しながら、「私って数学苦手だったね。浪人しようとしても数学の勉強をまたやるのは嫌だったから、やめたし」そう言った私に向かって母は「中学校の時、美術の先生のアドバイスを聞いた方が良かったかも」と言いました。私はすっかり忘れていましたが、中学3年生の夏休みの時、いきなり美術の先生から家の方に電話があり、「スミは美術に向いていると思うので、休みを利用して、美術の塾にでも通わせて見たらどうですか？」と誘われたのです。親と相談したところ、結局、行かなかったのですが。今、考えてみるとその美術の先生に対し、本当にありがたい気持ちで一杯になります。もしかして、先生も自分の好きなことに辿り着くのに相当の時間を費やしたのではないかでしょうか。そして、自分の興味や適性というものは、もともと自分が一番よく知っているはずなのに、第三者から言われる前に気づかなかつたのはなんて馬鹿らしく恥ずかしいことなのでしょう。間違っていたのは私ですが、皆に自然のことのように思われているいわゆる「決まっている教育課程」が、本当は決まっている道ではないのでしょうか。人生って決まっている道ではないと思います。個性を活かして、また相手の個性を尊重して一緒に生きていく社会になれば、それだけで十分なのではないでしょうか。

こういった韓国の教育状態の中では、子どもたちを導いていく先生や親の役割もさらに大きくなると思います。それで最近私は、自分が結婚して子どもが生まれたら、どんなふうに育てていくのだろうかと子育てのこともいろいろと考えるようになりました。気が早いかも知れませんが、それは私が自ら楽しむことを見つけるのに相当の時間を費やしただけに、自分の子どもにだけは回り道を歩んでほしくないし、できることならそれにかかる時間をもっと縮めてほしいからです。

（淀江町国際交流員 李秀美）

米 子 労 働 基 準 監 督 署 1 2 3 1	鳥 取 労 働 基 準 部 質 金 室	【問 い合 わせ 先】	(効 力發 生日)	・ 各 種 商 品 小 賣 業	・ 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	2 産 業 別 最 低 賃 金	1 時 間	1 時 間	・ 時 間 額	1 鳥 取 県 最 低 賃 金
0 8 5 9 1 34 1 2 2 3 1	0 8 5 7 1 29 1 7 0 5	鳥 取 労 働 基 準 部 質 金 室	平成 16 年 12 月 20 日	6 8 1 円	7 0 7 円	6 1 1 円	1 時 間	1 時 間	・ 時 間 額	1 鳥 取 県 最 低 賃 金

鳥取県で適用される最低賃金の額が次のようになります。

鳥取県最低賃金が
改正されました。